

「氷」で人をワクワクさせたい



おかもと たかひき
岡本 貴之 さん

Profile / 1982年生まれ。市内新町出身。株式会社岡本製氷冷凍工場 専務取締役。市・商工会議所主催「経営未来塾」第2期生、「気仙沼経営人材育成塾」第1期生。現在は「氷」を通じて交流人口を増やす事業に挑戦中。

大学進学や留学で気仙沼をしばらく離れていましたが、2009年に気仙沼へ戻り、祖父の代から続く、岡本製氷冷凍工場に働いています。

2014年に周りの方から推薦いただいたのと、今後の目標を見つける良いタイミングだと思い経営未来塾を受講しました。経営未来塾では現在自分が置かれている立ち位置や社員をどのようにしていくかという心構えや生き方を学ぶことができました。そして、氷屋として何ができるか考えました。震災で激減した観光客を呼び戻し、交流人口を増やしていきたいという思いがあり、震災で被災した「氷の水族館」を復活させる事業を計画しました。そして多くの方の支援をいただき、2017年にリニューアルオープンさせることができました。その事業の中では氷に関する新しい技術を学

び、良い刺激となりました。水産関係者だけではなく、「氷の水族館」に来られる市外のお客さんなどの声も聞けるようになりました。その後、気仙沼経営人材育成塾も受講し、5カ年の中間経営計画を立てるなど、具体的な「数字」のことを学ばせていただきました。

最近当社では、キッチンカーで市内を回り、地元の物を豊富に使用した、かき氷を販売しています。ぜひ食べに来てください！今後も氷にちなんだ人をワクワクさせることを軸にやっていきたいと思っています。

経営者対象 — 気仙沼経営人材育成塾 —



気仙沼発の新規事業をつくりたい



かとう こうだい
加藤 広大 さん

Profile / 1997年生まれ。神奈川県小田原市出身。2年前に気仙沼に移住。市地域おこし協力隊、気仙沼市移住・定住支援センター MINATO 勤務。市主催「ぬま大学」第5期生。ぬま大学では生産者の支援を行うマイプランを考え、その活動を経て現在は amu 株式会社の創業準備を行う。

僕が移住した理由は「気仙沼で事業をつくること」だったので、やりたいことの整理をしたくて移住1年目にぬま大学を受講しました。

ぬま大学修了後、食材の美味しさだけでなく、生産者の想いを届け、その想いを感じながら食べる喜びを体感することで、消費者と生産者の新しい関係性を創り出す事業に挑戦しました。さらに、今は「気仙沼発で世界展開できるようなモデルケース事業を立ち上げたい」と思い、世界が直面している環境・ゴミ問題を、港町気仙沼から、「漁網ゴミ」に着目して解決していきたいと考えています。ゴミが新しい製品に生まれ変わり、新しい価値を持つことで、ゆくゆくは漁師さんが魚だけではなく海洋ゴミを集めて稼げるようになれば、気仙沼から同様

20～30代対象 — ぬま大学 —



の課題を持つ他地域へこの事業を展開していけると考えています。

秋頃には、第1弾商品の完成を目指し、準備を進めています。その準備の段階でいろんな企業の方々に背中を押してもらい、応援してくれる気仙沼の気風にとっても感謝を感じます。

また、海とともに生きる気仙沼の可能性や、暮らす人の生き方・あり方のすごさを実感しています。そんな気仙沼の魅力も、この事業を通して伝えていけたらと思います。

安心して相談できる人になりたい

興味があった心理学について知識を深めたいと思い、友達を誘ってマイプロジェクトアワードに参加しました。

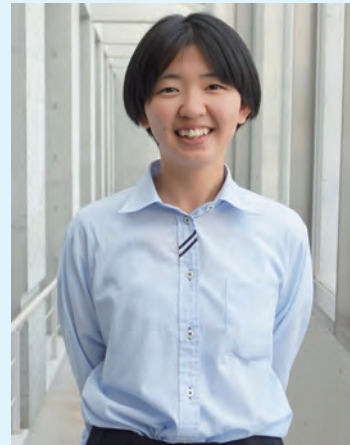
友達から相談を受けることが多かった「**虐めや虐待**」を活動のテーマにし、まずは調べて基礎知識をつけるところから始めました。そこから、**虐めや虐待**を減らすために何ができるかを考えた時に、言葉で伝えてもその一瞬しか残らないことや相手が忘れてしまうことから、動画や小説といった形に残るものにまとめて発信することにしまし

た。その動画や小説をきっかけに、誰にも話せなかったことをまずは相談できるようになればと思っています。

活動を通して自分の知識が増えたことで、実際に相談を受けた時に、相手に届ける言葉選びに気を遣えるようになりました。そして、自分と相手を大切にするには、自分自身を「自分」と「相手」の視点だけで見てもうのではなく、第三者の客観的な視点で見ることも大切だということに気づきました。

私は大学に進学し、心理学を学びたいと思っています。専門的な知識を身につけることで、人間関係に悩む人達が安心して相談できる人になり、一人でも多くの人を救うことができればうれしいです。

「彼岸花」
Instagram
はこちら



佐藤 みさ さん

Profile / 2004 年生まれ。市内階上出身。本吉響高校3年生。市主催「高校生のマイプロジェクトアワード2020」参加者。「彼岸花」という佐藤さんを含めた4人のチームでアワードに参加し、「**虐め・虐待について**」というテーマでマイプロジェクトを実施。

高校生対象

—高校生マイプロジェクトアワード—



40歳代以上対象

—アクティブコミュニティ塾—



自分の住んでいる地域だけでなく、全国の取り組みを見たり聞いたりすることで、自分も何かしてみようという気持ちが起こるのではと思います、アクティブコミュニティ塾を受講しました。

現在私が住んでいる和野地区は震災後に世帯数が増えました。一方、地区の活動では参加する人が少ないことが課題となっています。そんな中で地域の皆さんに参加いただけるようなイベントができないかと模索しています。和野地区には自然などの魅力がたくさんあり、技

身近な地域の魅力を知ってほしい

術を持つ人もたくさんいます。和野地区の皆さん自身が地域を大切にしていきたいという気持ちを持ち、「いいところだね」と言ってもらえるような地域にしていきたいと思っています。そこで地区内でアンケートを配布し、地域の人達の悩みや要望を集めてみることを提案しましたが、現状では行えていない状況です。具体的なイベントとしては、小中学生とその親子で参加できる「ミニ図書館」の様なものや、山から引いた水を使った米作り体験（田植えや収穫など）などができたらいいなと思っています。また、自治会館を使い、誰もが集まれる自治会、自治会館にしていきたいです。

現在さまざまなことを模索中ですが、諦めません。今後も地域の皆さんが幸せになるような取り組みをしていきたいです。



齋藤 恵子 さん

Profile / 1948 年生まれ。市内新月出身。和野自治会長、平貝自然農園代表。市主催「アクティブコミュニティ塾」第5期生。現在は地域のことを知って、好きになってほしいという思いから子どもから大人まで楽しめるイベントを計画している。